

ドクトル伊田の「は」口ほどに… 目をみてわかる体の病気

No.42

高血圧や糖尿病、高脂血症、高尿酸血症など動脈硬化性(メタボ)疾患は、血液粘性が上がり、血管抵抗が増すので、血管が体を循環すると全身の血管が傷みます。病気になるって時間が経てば、血管はストレスの蓄積で変化していきます。

「メタボ健診で「あなたと実年齢より若くても」眼底検査で網膜血管が収縮して細くなり、網膜が腫れていれば、網膜血管攣縮症で血管が苦しんでいる状態です。この時期なら内科で早急にメタボの内服治療を開始する

(運動や食事改善で様子を見るのではダメ、内服が必要)ことで、何とか網膜血管の健全な状態をとり戻せます。

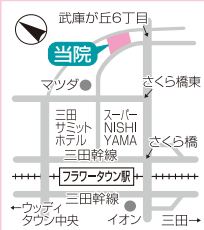
この時期を過ぎると血管の内皮細胞や平滑筋細胞に器質的な変化が現れ、血管壁が厚くなり線維化していきます。血管攣縮は次第にみられなくなり、体の治療に反応しなくなります。これが網膜細動脈硬化症で、血管が変性して、もう元には戻せません。

いわゆる動脈硬化性眼底では、血液循環障害と変性した血管から滲み出した滲出物が網膜を傷め

て、糖尿病や高血圧の網膜症、網膜動脈瘤、網膜静脈閉塞症など視力に直結する病気が発症します。目の病気は合併症ですから、体にも同じことが起こっていると考えられます。網膜血管攣縮や細動脈硬化は、中年期(40〜65歳)のメタボ疾患の眼底所見として重要です。中年期に始まった体の病気が原因で、高齢になって苦しまないよう、メタボには早期に治療介入するのが有効とされています。平均寿命が延びた今、中年期での対応が高齢期の人生を左右すると

言っても過言ではなく、眼科検診がその一助になればよいと願っています。(院長・伊田 宜史)

て、糖尿病や高血圧の網膜症、網膜動脈瘤、網膜静脈閉塞症など視力に直結する病気が発症します。目の病気は合併症ですから、体にも同じことが起こっていると考えられます。網膜血管攣縮や細動脈硬化は、中年期(40〜65歳)のメタボ疾患の眼底所見として重要です。中年期に始まった体の病気が原因で、高齢になって苦しまないよう、メタボには早期に治療介入するのが有効とされています。平均寿命が延びた今、中年期での対応が高齢期の人生を左右すると



- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	○	○	△
18:30	○	○	○	△	○	○	△

【休診日】木・土 曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>